

令和6年度～ 茅ヶ崎市自立支援協議会【相談支援部会】

事務局：ちがさき基幹相談支援センターNalu

1. 部会設置の背景・テーマ・概要

【背景】

令和4年3月からの基幹相談支援センター設置プロジェクトでは、団体へのヒアリング、アンケート、グループワーク等を通じて現状の相談支援体制に対する課題を抽出、整理しながら、「2030 CHIGASAKI PROJECT」として、茅ヶ崎市総合計画の最終年度2030年にありたい姿である「地域において年齢や経済状況、障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりが地域の一員として健康で心豊かに暮らすことのできる社会の実現」に向け、「誰もが身近な場所で相談したいときに相談できる」をコンセプトに設定した。さらに、「相談支援体制の強化」、「相談員の育成」、「地域の体制づくり」、「情報の発信・交流・連携」の4つを柱としてコンセプトを達成するため取り組んでいくこととし、3つの相談支援事業の役割を大まかに整理した。

令和6年度及び令和7年度の相談支援部会では、この議論の経過を踏まえ、障がい福祉分野における相談支援体制づくりに向け、具体的な取組につなげる検討を進めることとする。

【テーマ】

- 「誰もが身近な場所で相談したいときに相談できる」体制の実現に向けて
- 2024～25年度 障がい福祉分野における相談支援体制づくり
 - 2026～27年度 (仮) 相談支援と他領域・他分野との連携強化
 - 2028～29年度 (仮) 茅ヶ崎らしい相談支援体制の実現

【概要】

部会では、次の内容について検討を進め、必要に応じてワーキンググループを設置する。

開催回数 年4～6回

- 三層構造の役割の明確化、相談支援体制の「バックアップ機能」の強化
- 現状（相談支援の実績）の分析、地域アセスメントにより数値目標を立てる
- 支援者支援の研修体系構築（事業所間交流・情報発信部会で実施？）やスーパービジョンの実施（相談支援事業所連絡会で実施？）
- わかりやすい相談窓口を意識、障がい福祉分野の発信力をつける
- 基幹相談支援センターに対する代表者会議委員からの評価及び市総評に対する検証

2. 部会の構成員

◇相談支援部会の構成員

- 地域包括支援センターの代表
- 神奈川県立茅ヶ崎支援学校の代表
- 障害者団体連絡会の代表
- 障害者施設連絡会の代表
- 相談支援事業所連絡会の代表
- 委託相談支援事業者（市が委託している4事業者：障害者生活支援センター、生活相談室とれいん、地域生活支援センター元町の家、相談支援センターつみき）
- 指定障害児相談支援事業者（児童発達支援センターうーたん）
- 市障がい福祉課
- ちがさき基幹相談支援センターNalu（事務局）